

# 平成29年度 県事研ビジョン「広島風おこのみプラン」進捗状況報告

会員（個人）による回答のまとめ【アンケート回収数：258枚】

評価欄:【している】【していない】、評価の期間:平成28年8月～平成29年7月

## ☆「研修」－安定した事務機能の構築・資質向上

- 【実効策】 ①研修の機会等を積極的に活用し、新たに必要とされる知識や技能の習得に取り組みます。  
 ②学校事務に関して必要な知識・技能を有し、事務処理等に活かします。  
 ③自らの実践や研修成果を積極的に示し、改善に活かします。

3つのワーク	具体的取組	具体的取組(詳細)	平成28年度 評価(%)			平成29年度 評価(%)			平成30年度 評価(%)			平成31年度 評価(%)		
			している	していない	未回答	している	していない	未回答	している	していない	未回答	している	していない	未回答
チームワーク	学校経営スタッフとしての役割を果たす能力を身に付けるための研修に参加	自己のキャリアの向上を常に考え、研修計画を立て研修(教育センター研修等)に参加する。 【参考:学校事務職員キャリア形成のための研修計画】	58.5	35.5	6.0	77.1	22.4	0.5						
		事務研究大会(広島県公立小中学校事務研究大会等)に参加する。	92.8	1.5	5.7	100	0.0	0.0						
ネットワーク	市町事務研への参加	実務研修やビジョンに沿った研究を行う。	84.0	9.7	6.3	93.4	5.8	0.8						
フットワーク	共同事務組織等でのOJTによる研修の推進	日常の実践例を共有することにより経験値を高める。	79.5	14.5	6.0	96.5①	2.3	1.2						

### 【分析・考察】

全体的に10%～20%の上昇となっている。

①市町事務研や共同事務室等で研修や実践例を共有化し、個々及び共同事務室の資質向上につながっていると思われる。

☆「学校事務職員キャリア形成のための研修計画」を参考に研修計画を立てることができるように提供する。

☆「職務内容」－関係機関との連携・学校事務の改善と標準化

- 【実効策】 ①学校教育目標の達成に向け、担当する校務分掌等について、改善する意識をもって参画します。  
 ②新しい発想や方法を積極的に取り入れ、創意工夫しながら事務の改善等に取り組みます。  
 ③児童生徒理解のための情報収集を積極的におこなうとともに、職務に活かします。

3つのワーク	具体的取組	具体的取組(詳細)	平成28年度 評価(%)			平成29年度 評価(%)			平成30年度 評価(%)			平成31年度 評価(%)		
			している	していない	未回答	している	していない	未回答	している	していない	未回答	している	していない	未回答
チームワーク	学校間連携	共同事務組織等(※)により、保幼小中高大連携にかかわる業務に必要な情報交換をし、連携を図る。 ※事務連絡会や事務研等の共同事務室以外の組織・会も含む。	77.1	17.2	5.7	88.4	11.6	0.0						
ネットワーク	事務改善への実践	全国・県内各校の情報を得ながら、事務改善について事務職員間で連携を図る。	63.9	30.1	6.0	84.1①	15.9	0.0						
フットワーク	学校経営参画への取組	経験年数を活かし、学校経営参画に取り組む。	59.7	34.0	6.3	75.2②	24.0	0.8						

【分析・考察】

全体的に12%~20%の上昇となっている。

①国や県の大きな流れを確認し、創意工夫しながら、業務改善を進めている事務職員が毎年増えてきている。

②学校経営に参画するという意味を、企画委員会へ参加するということだけでなく、広い意味であらゆる業務において学校事務職員が学校経営の一部を担っているという意識が高まってきている。

☆「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に法が改正されたことにより、さらに学校経営参画意識をもち、組織の一員として貢献できるよう提示していく。

☆「情報収集と発信」－各方面とをつなぐ役割を果たし信頼を得る

【実効策】 ①他の教職員と積極的にコミュニケーションを図るとともに、相談に応じます。

②地域住民や保護者・児童生徒等の学校に対する要望等を把握し、教育活動の充実に向けた条件整備に取り組みます。

3つのワーク	具体的取組	具体的取組(詳細)	平成28年度 評価(%)			平成29年度 評価(%)			平成30年度 評価(%)			平成31年度 評価(%)		
			している	していない	未回答	している	していない	未回答	している	していない	未回答	している	していない	未回答
チームワーク	情報提供・収集・意見交換	教育活動の企画段階で情報提供することにより、学校経営にかかわる。	58.2	35.2	6.6	75.6	23.6	0.8						
	個人情報保護につとめる	情報管理の質の向上につとめる。	82.9	10.5	6.6	92.6	7.0	0.4						
ネットワーク	職員からの要望・意見を把握	職員からの要求・意見を予算要求・執行計画等に反映させる。	86.8	6.6	6.6	98.4	0.8	0.8						
	地域との連携	地域の人材や情報の提供者と学校との連携に関わり、教育活動が円滑に行えるように支援する。	50.3	42.8	6.9	72.1①	26.7	1.2						
	情報公開	HPやメールシステム・学校だより等を利用し、遅滞なく発信するための支援をする。	35.6	57.5	6.9	47.3	51.9	0.8						
フットワーク	学校内外の情報や条例規程の改正等の収集と理解	(職員会議や事務だより・回覧等で) 予算執行状況や条例等の改正について職員へ周知徹底する。	79.2	14.2	6.6	94.2	5.4	0.4						
	地教委と連携を取り、教育条件整備につながる予算要求をする。または執行計画を立てる	予算要求等に有効な根拠データを収集し、適正な予算要求をする、または執行計画を立てる。	80.1	13.6	6.3	92.6	6.6	0.8						

【分析・考察】

全体的に10%～22%の上昇となっている。

①「地域との連携」は、全体の中で一番の上昇率となっている。分科会提案での具体的な実践例を紹介し、情報交換する中で、「している」ことへの認識につながったのではと考える。

☆「情報公開」については、いまだ過半数を下回っている。具体的な事例を収集・整理し、共有することでさらに発展につなげていくことが必要である。

※全体をみると「している」の回答率がほぼ8割・9割になってきている。これまでの取組が周知されていると評価したい。